

広
報

HA 葉山 YAMA

6 No.567
月号



今月の目次

特集 近美のヒミツ	…… 2	教育委員会だより	…… 14
はやまNEWS	…… 5	ごあんない	…… 16
子育て広場	…… 10	葉山いろいろ写真館	…… 22
健康情報	…… 12	町長コラム	…… 23



特集

神奈川が誇る芸術の中心地

近美のヒミツ

神奈川県立近代美術館葉山は、2003年に開館し、今年で15年目を迎えます。今月号では、愛着を込めて「近美」と呼び、多くの人から愛される近美のヒミツに迫ります。



海と山。自然に愛された美術館

《基本情報》
住所 一色2208-1
※バスの場合は「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」で下車、有料駐車場あり
開館時間 9時30分～17時
休館日 月曜日（祝日と振替休日）は開館、展示替期間（レストランと駐車場は営業）、年末年始
電話 ☎ 87512800

神奈川県立近代美術館は、日本初の公立近代美術館として鎌倉に作られました。昨年3月に鎌倉館が閉館となり、現在は葉山館と鎌倉別館の二つになっています。葉山館の特徴は、なんといっても自然の中にあること、そして自然と調和した外觀です。北には三ヶ岡山がそびえ、南には一色海岸を眺められます。また、無料で入れる庭園には、野外彫刻もあり、季節によって様々な表情を見ることが出来ます。



館内で無料配布しているマップ「彫刻はどこにいるの？」を片手に、美術館の庭園を散策しながら彫刻を見つけてみよう！

初心者もOK

ヒミツ
4

入門講座を開催しています

「美術館にあまり行ったことがない」、「どうやって楽しめば良いの?」という初心者のための講座です。美術館と葉山町が共催で講座を行い、学芸員が展覧会の楽しみ方をお教えします。

【第2回】日時 7月15日(土)10時~11時

場所 福祉文化会館 大会議室(申込み不要)



7月の講座テーマは「萬鐵五郎と湘南」です。
(写真は4月の講座「初めての砂澤ビッキ」)

地下で発見!

ヒミツ
2

美術図書室があるんです

地下1階にある美術図書室は、半地下のため、大きな窓から緑豊かな三ヶ岡山を眺められます。展覧会に関する書籍はもちろん、葉山に関する本、美術に関する絵本なども揃っています。展覧会の余韻を静かな図書室で味わってみませんか?(観覧券なしで利用できます)



入口すぐの棚には、全国の美術館のチラシや割引券があります。次の美術館巡りの参考に!

子ども向け

ヒミツ
5

わくわくゆったりグッズ

中学生以下は入館無料です。また、夏休み期間中に来館した18歳以下を対象に、「わくわくゆったりグッズ」をプレゼントしています。そして毎月第1日曜日は「ファミリー・コミュニケーションの日」! 18歳未満の子どもと一緒に来館した家族は、割引料金で入館できます。



8月6日(日)は「会話を楽しむ日」! 小さな子どもと一緒に遠慮なく楽しめます。

一日遊べる!

ヒミツ
3

レストランもショップも

一色海岸を眺めることができるレストランでは、地元の食材を使ったオリジナルメニューを用意しています。また、ミュージアムショップでは、美術館所蔵の絵画などをモチーフにしたオリジナル商品などを販売し、いずれも観覧券なしで利用することができます。



近美でしか味わうことのできないもの、買うことのできないものを発見してみましょう。

開催中の展覧会

ヒミツ
7

木魂を彫る 砂澤ビッキ展

期間 6月18日(日)まで

北海道に生まれた戦後彫刻の巨匠・砂澤ビッキの、北海道以外の公立美術館で初の個展を開催しています。また、同時開催の「コレクション展 躍動する個性—大正の新しさ」では、岸田劉生や関根正二などの作品を通覧します。



砂澤ビッキ
《TOH》
1985年 当館蔵
撮影：山本糾
＊6月10日(土)
には《樹華》をつくるワークショップもあります(詳細は美術館HP)。

次回展覧会

ヒミツ
6

没後90年 萬鐵五郎展

期間 7月1日(土)～9月3日(日)

岩手の土沢に生まれ、茅ヶ崎で没した萬鐵五郎は、大胆な表現で異彩を放った画家です。本展では、重要文化財《裸体美人》を含む約400点の作品から、その造形や表現の変遷などについて考察する20年ぶりの大回顧展です。



萬鐵五郎
《水着姿》1926年
油彩、岩手県立美術館蔵
＊詳しくは広報葉山7月号でもお知らせします。

館長インタビュー



県立近代美術館 水沢 勉 館長

葉山館は海と山にはさまれ、建物も開放的で明るい造りをしています。葉山には駅がなく、とても静かですね。その静かな雰囲気や、町に入り、詩人、音楽家など、町には芸術家が多く住んでいます。また、近隣には山口蓬春記念館や葉山しおさい公園・博物館があり、葉山という場所、美術館があるのに最も適した場所だと思います。

滞在する楽しみ

展覧会を見て終わりではなく、庭園を散歩する、レストランで食事をする、美術図書室で本を読むなど、長時間過ごしてもらいたいです。ゆっくりと時が流れていく葉山で、自然と文化の中にゆったりと身を置き、「ひたる」ことが美術館の楽しみ方なのではないでしょうか。

葉山に「ひたる」ひと時を

葉山らしさ

芸術は難しくて苦手だなと思う方は、作品を覗いている「人」を見ると発見があるかもしれませんよ。

芸術は難しい？

展覧会の作品を一つ一つ勉強しながら鑑賞する必要はありません。近美の庭園を散歩して、気になった彫刻を見つめるだけでも芸術に触れることはできるのです。